

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	インドネシアの小説『Laskar Pelangi』における日本語の翻訳 : 補助動詞「~てくれる」・「~てもらう」を中心に
Author(s)	ファイジン アハマド ラシディ,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 35期 : 44 - 67
Issue Date	2020-10-30
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050142
Right	
Relation	



インドネシアの小説『Laskar Pelangi』における日本語の翻訳 — 補助動詞「～てくれる」・「～てもらう」を中心に —

ファイジン・アハマド・ラシディ

第一章 序論

1.1. はじめに

日本語の文法には、恩恵・利益の授受を示す表現がある。それは授受表現、あるいは「やりもらい」と呼ばれている。寺村 (1982) によると、日本語の授受表現は、「誰が誰に対して (誰から誰へ)」物や行為の効果が移動するののかという制約も持つ。つまり、与える人が誰で、受けとる人が誰かということについての特別な条件がある。行為の授受を表したら、「～てあげる・～てやる」、「～てくれる」、「～てもらう」といった補助動詞で示されている。そして、物の授受の場合は、動詞「あげる・やる」「くれる」「もらう」で述語として表示されている。

本研究では、行為の授受に注目し、「～てくれる」と「～てもらう」はインドネシア語ではどんな表現になっているか、小説『虹の少年たち』と『Laskar Pelangi』を対象として、考察しようと思う。

1.2. 先行研究

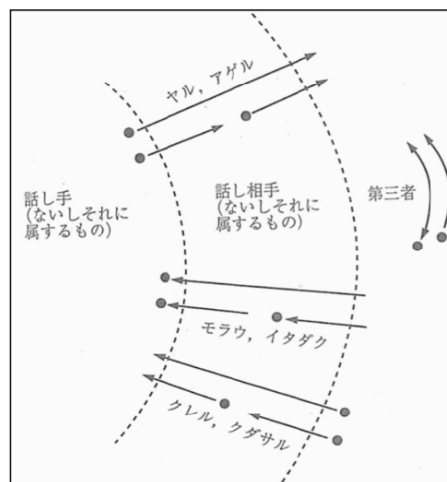


図1 寺村 (1982 : p. 134)

図1は、授受動詞における事物の方向性と主語を表している。「→」は物・行為の方向性を表号し、「●」は主語を表号する。図1を見ると、「くれる」と「もらう」の恩恵・利益

の方向性が同じであることがわかる。それは、よそ者から身内へ移動するということだ。

1.3. 研究方法

まず、筆者は『虹の少年たち』における授受表現「～てくれる」と「～てもらう」の使用例を収集する。そして、『Laskar Pelangi』において対応する文を検索し、そのデータをそれぞれ表にまとめる。そのあと、インドネシア語の文章構成に応じて、検索した文がどんな表現になっているか、分析し、分類する。

第二章 日本語の授受表現

日本語の授受表現は、行為の授受を表し、基本的に「～てあげる・～てやる」、「～くれる」、「～もらう」という補助動詞で表示されている。丁寧な表現にすると、「～てあげる・～てやる」が「～さし上げる」に、「～くれる」が「～てくださる」に、「～もらう」が「～いただく」になるという制約がある。また、物の授受を表すときに、動詞の「あげる・やる」「くれる」「もらう」で表示されている。

日本語の授受表現は、事物の授受を表すだけでなく、授受の対象である事物が**受け手**にとって「好ましい」ものであるという性質、つまり「恩恵性」も持っており（益岡 2001 : 27）。川村（1991）によると、授受表現の使用には、話し手の主観の問題にかかわる、つまり話し手の視点が大きく関係しているという。

2.1 「～てあげる」

「～てあげる」は、相手に恩恵・利益を与えることを表す言い方である。**与え手**は「わたし」（＝話し手）、または**受け手**より心理的に「わたし」（＝話し手）に近い人である（身内）。**与え手**が主語となり、助詞の「は」／「が」で表示され、**受け手**が助詞の「に」で表示されている。

例文：

1. ○兄（＝**与え手**）はメリーさん（＝**受け手**）に折り紙を教えました。
2. ×メリーさん（＝**与え手**）は妹（＝**受け手**）に英語を教えました。

例文1と例2を見ると、「～てあげる」の恩恵・利益の方向は身内からよそ者へ移動するということがわかる。

2.2 「～てくれる」

「～てくれる」は、「わたし」（＝話し手）、または心理的に「わたし」に近い人（身内）がほかの人（よそ者）から恩恵・利益を受けることを表す言い方である。**与え手**は主語と

なり、助詞「は」／「が」で表示されている。受け手は「わたし」（＝話し手）、または心理的に「わたし」（＝話し手）に近い人（身内）で、助詞の「に」で表示されている。

例文：

3. ○メリーさん（＝与え手）は妹（＝受け手）に英語を教えてくださいました。
4. ×兄（＝与え手）はメリーさん（＝受け手）に折り紙を教えてくださいました。

例文3と例4を見ると、「～てくれる」の恩恵・利益の方向はよそ者から身内へ移動するということがわかる。

2.3 「～てもらう」

「～もらう」は、相手から恩恵・利益を受けることを表す言い方である。与え手は助詞の「に」で表示されている。受け手は「わたし」（＝話し手）、または与え手より心理的に「わたし」（＝話し手）に近い人（身内）で、助詞の「は」／「が」で表示されている。文章構造では、受け手は主語である。

例文：

5. ○妹（＝受け手）はメリーさん（＝与え手）に英語を教えてくださいました。
6. ×メリーさん（＝受け手）は兄（＝与え手）に折り紙を教えてくださいました。

例文5と例6を見ると、「～てもらう」の恩恵・利益の方向はよそ者から身内へ移動するということがわかる。

第三章 インドネシア語の文章構造

3.1. インドネシア語の接辞

インドネシア語の文章構造は基本的に英語と似ている。

例文：

7. Saya adalah mahasiswa.
I am a student
私 は 学生
(私は学生だ。)
8. Saya membaca buku.
I read a book
私 読む 本
(私は本を読む。)
9. Saya suka menonton film.
I love to watch movie
私 好き 見る 映画
(私は映画を見るのが好きだ。)

また、インドネシア語の文法では、接辞が大事な要素である。ある語幹は名詞であるか、動詞であるか、形容詞であるか、その単語の種類が、付いている接辞で決定される。Sneddon (2010) によると、接辞は2つのタイプ、derivational (派生語) と inflectional (活用) に分類されている。Derivational というのは、接辞が語幹に付いたら、その語の品詞が変わる。Inflectional は接辞が語幹に付いても、品詞が変わらない。インドネシア語の文法では接辞のほとんどは derivational である。インドネシア語には3つの接辞が存在する。それは、prefiks→接頭辞、sufiks→接尾辞、konfiks→接頭辞・接尾辞の組み合わせ。

3.1.1. 接頭辞 : 「meN-」

「meN-」は、その語が能動態の動詞であることを表示する接頭辞である。「meN-」の「N」は語幹の頭文字に応じて、発音が変わる。それは「m」、「n」、「ny」、「ng」、又は「ø」といった鼻音の一つになる。更に、決まった頭文字の発音の変化もある。その頭文字は「k」→「ng」、「t」→「n」、「s」→「ny」、「p」→「m」である。例として、「N」の発音の変化を以下にあげるが、語幹の変更についても述べていく。

3.1.1.1. 頭文字が母音であれば、「N」が「ng」になる。

meN- + ajar (=教え) → mengajar (=教える)
meN- + ekspor (=輸出) → mengekspor (=輸出する)
meN- + erang (=怒鳴り) → mengerang (=怒鳴る)
meN- + olah (=処理) → mengolah (=処理する)
meN- + urus (=扱い) → mengurus (=扱う/管理する)

3.1.1.2. 頭文字が「b」「f」「p」であれば、「N」が「m」になる。「p」の場合は、その「p」が消える。

meN- + beli (=購入) → membeli (=買う/購入する)
meN- + fitnah (=誹謗) → memfitnah (=誹謗する)
meN- + pakai (=利用) → memakai (=利用する/用いる)

3.1.1.3. 頭文字が「c」「d」「j」「s y」「t」「z」であれば、「N」が「n」になる。「t」の場合は、その「t」が消える。

meN- + cari (=探す) → mencari (=探索する)
meN- + dengar (=聞く) → mendengar (=聞き取る)
meN- + jual (=売る) → menjual (=販売する)
meN- + syarat (=定め) + -kan → mensyaratkan (=定める)

meN- + tulis (=書く) → menulis (=書く／作文する)
meN- + ziarah (=墓参り) + -i → menziarahi (=墓参りする)

3.1.1.4. 頭文字が「s」であれば、「N」が「ny」になる。そして、その「s」が消える。

meny- + sewa (=レンタル) → menyewa (=レンタルする)

3.1.1.5. 頭文字が「g」「h」「k」「kh」であれば、「N」が「ng」になる。「k」の場合は、その「k」が消える。

meN- + ganggu (=邪魔) → mengganggu (=邪魔する)
meN- + hilang (=無くなる) → menghilang (=消える)
meN- + kirim (=送る) → mengirim (=送る／届ける／伝える)
meN- + khawatir (=心配) + -kan → mengkhawatirkan (=心配する)

3.1.1.6. 頭文字が「l」「m」「n」「ny」「ng」「r」「w」「y」であれば、「N」が消える。

meN- + lihat (=見る) → melihat (=見る／監視する)
meN- + masak (=料理) → memasak (=料理する)
meN- + nanti (=後／次) → menanti (=期待する)
meN- + nganga (=パクリ) → menganga (=パクリする)
meN- + nyanyi (=歌) → menyanyi (=歌う)
meN- + rasa (=感じ) → merasa (=感じる)
meN- + wakil (=代表) + -i → mewakili (=代表する)
meN- + yakin (=信用) + -i → meyakini (=信用する)

同じ「N」の音をもった動詞であっても、異なる「N」+頭文字の組み合わせから成立するものがいくらかある。つまり、インドネシア語における動詞の変化には規則的な変化もあれば、不規則的な変化もあるということで、推測できない場合もある。例えば、「meny-」は、「meN-」と「s」の組み合わせか、「meN-」と「ny」の組み合わせかから成立する。

menyewa (=レンタルする) → meny- + sewa (=レンタル)
menyanyi (=歌う) → me- + nyanyi (=歌)

そして、「meng-」は以下の組み合わせから成立する。

mengarang (=作文する) → meng- + karang (=組み立て／組み合わせ)
mengarang (=灰になる) → meng- + arang (=灰)

3.1.1.7. 「meN-」の直後に接頭辞「per-」を付加すれば、「N」が「m」に変化し、「memper-」

という接辞 (konfiks) になる。「memper-」は語幹を使役動詞にする機能を持っている接辞である。そして、動詞構成では、付いている語の頭文字が変化しない。

meN- + per- + lebar (=広い) → memperlebar (=広める)

meN + per- + oleh (=から／より) → memperoleh (=〇〇から・よりもらう)

3.1.1.8. 語幹の頭文字「k」「t」「s」「p」は次の文字が母音でなければ、その頭文字は消えない。そして、「meN-」の「N」はそれぞれ制約を受け変化する。「s」の場合、「N」は「n」になる。

meN- + proklamasi (=公表) + -kan → memproklamasikan (=公表する)

meN- + traktir (=ご馳走) → mentraktir (=ご馳走する／奢る)

meN- + swadaya (=自給自足) + -kan → men^{sw}adayakan (=自給自足する)

meN- + klasifikasi (=分類) + -kan → mengklasifikasikan (=分類する)

3.1.1.9 語幹はインドネシア語と認定された外来語であれば、頭文字「k」「t」「s」「p」が消えても、消えなくても成立する。

meN- + kritik (=批判) → mengkritik, mengritik (=批判する)

meN- + taat (=真面目／熱心) + -i → mentaati, menaati (=従う)

meN- + sukses (=成功) + -kan → men^{su}kseskan, menyukseskan (=成功させる)

meN- + protes (=抗議) → memprotes, memprotes (=抗議する)

3.1.1.10. 語幹は一音節のインドネシア語と認定された外来語であれば、「meN-」が接頭辞「menge-」になり、頭文字「k」「t」「s」「p」は消えない。そのまま「meN-」+語でも成立する場合もある。

meN- + pel (=モップ) → mengepel, mempel (=モップ掛ける)

meN- + cek (=チェック) → mengecek, mencek (=チェックする)

meN- + bom (=爆弾) → mengebom, membom (=爆弾で爆発させる)

meN- + tik (=タイプ／入力) → mengetik, mentik (=タイプする／入力する)

meN- + sah (=認定) + -kan → mengesahkan, mensahkan (=認定する)

meN- + rem (=ブレーキ) → mengerem, merem (=ブレーキをかける)

3.1.2. 接頭辞 : 「di-」

「di-」は、語幹が受動態の動詞であることを表示する接頭辞である。「di-」の次の語幹の頭文字は変化しない。

di- + olah (=処理) → diolah (=処理される)

di- + pakai (=利用) → dipakai (=利用される)
 di- + dengar (=聞く) → didengar (=聞かれる)
 di- + sewa (=レンタル) → disewa (=レンタルされる)
 di- + ganggu (邪魔) → diganggu (邪魔される)
 di- + lihat (見る) → dilihat (見られる)

3.1.3. 接尾辞 : 「-kan」

接尾辞「-kan」が付いた語はすべて動詞である。接尾辞「-kan」はさまざまな機能があるのだが、三つに分類できる。接尾辞「-kan」の機能は以下に述べていく：

3.1.3.1. Kausatif (=使役)

接尾辞「-kan」は使役の機能がある。それは Kausatif 「-kan」と呼ばれ、動詞、名詞、又は形容詞が語幹となる。語幹が形容詞の場合、目的語はその形容詞の品質・特性を受けることになる。例えば、形容詞「bersih」(=綺麗/清潔)を能動態の動詞にすると、「membersihkan」(=物事を綺麗にする/掃除する)となる。

例文：

9. Kamar ini sudah bersih.
 この部屋 もう 綺麗.
 オブジェクト (完了時制) 形容詞
 (この部屋はもう綺麗になった。)

→ Siti sudah membersihkan kamar ini.
 シティ もう 綺麗にする この部屋。
 主語 (完了時制) meN+形容詞+kan 目的語
 (シティはもうこの部屋を綺麗にした。)

この形態はほとんどの形容詞に該当する。

「Mengamankan」(=立ち退く・守る) → 「Aman」(=安全)

「Melebarkan」(=広げる) → 「Lebar」(=広い)

しかし、機能は動詞として使われるが、形容詞の品質・特性を受けない動詞もある。そして、その動詞の意味が語幹と違うこともある。

「Memberatkan」(=面倒をかける) → 「Berat」(=重い)

「Mengindahkan」(=注意を払う) → 「Indah」(=美しい)

3.1.3.2. Instrumental (=具格)

接尾辞「-kan」は具格の機能も持っている。それは Instrumental 「-kan」と呼ばれる。

この場合、文の構造は他動詞を基にする。動詞に「-kan」が付けくわえないと、直接目的語が出てくるが、「-kan」が付加されれば、道具を表す名詞が出てくる。目的語は2つに分類される。直接目的語と間接目的語である。直接目的語とは主語が与える行為の影響を受けるもののことである。間接目的語とは主語が行為するための道具・手段となるもののことである。

例文：

10. Dia memukul anjing dengan tongkat.
 彼 打つ 犬 で 棒
 主語 述語／動詞 目的語 (助詞) 道具
 (彼は棒で犬を打つ。)
- Dia memukulkan tongkat pada anjing.
 彼 打ち振る 棒 に 犬。
 主語 述語／動詞+kan 道具 (直接目的語) (助詞) 直接目的語
 (彼は犬に棒を打ち振る。)
11. Dia menikam perut harimau dengan belati.
 彼 刺す 虎の腹 で 出刃。
 主語 述語／動詞 目的語 (助詞) 道具
 (彼は出刃で虎の腹を刺す。)
- Dia menikamkan belati ke perut harimau.
 彼 刺す 出刃 に 虎の腹。
 主語 述語／動詞+kan 道具 (直接目的語) (助詞) 直接目的語
 (彼は虎の腹に出刃を刺す。)

3. 1. 3. 3. Benefaktif (=受益格)

Benefaktif「-kan」は、主語が他の人に事物の利益を与える機能を持っている。文章構造は Instrumental のように、他動詞の文構造を基にする。文構造では、目的語が直接目的語と間接目的語に分けられる。

例文：

12. Pelayan mengambil segelas air.
 店員さん 取ってくる コップ一杯の水。
 主語 行為／動詞 目的語
 (店員さんがコップ一杯の水を取ってくる。)
- Pelayan mengambilkan tamu segelas air.
 店員さん 取ってくる お客様 コップ一杯の水。
 主語 行為／動詞+kan 目的語1 目的語2。
 (店員さんがお客様に水を取ってくる。)
13. Dia menjahit rok.
 彼女 縫う スカート。
 主語 行為／動詞 目的語
 (彼女はスカートを縫う。)
- Dia menjahitkan anaknya rok.
 彼女 縫う 自分の子 スカート。

主語 行為／動詞+kan 目的語1 目的語2。
 (彼女は自分の子のために、スカートを縫う。)

すべての Benefaktif 「-kan」の動詞は接尾辞がなくても成立する。その場合、文構造が変わり、「untuk」、「bagi」、又は「buat」(=助詞「に」)が出てくる。

例文：

14. Pelayan mengambil segelas air untuk tamu.
 店員さん 取ってくる コップ一杯の水 に お客様。
 主語 行為／動詞 目的語2 (助詞) 目的語1。
 (店員さんがお客様にコップ一杯の水を取ってくる。)

更に、Benefaktif 「-kan」は行為の対象とする目的語1を表示しなくても、成立する。

15. Pelayan mengambilkan segelas air.
 店員さん 取ってくる コップ一杯の水。
 主語 行為／動詞+kan 目的語2
 (店員さんがコップ一杯の水を取ってくる。)

第四章 考察

4.1. 授受表現「～てくれる」の考察

『虹の少年たち』における授受表現「～てくれる」を調べた結果、32の文が見つかった。その中から、いくつか例を取り上げて考察していく。

4.1.1. kausatif (=使役格) 「meN-動詞-kan」

例文 16. 『虹の少年たち』：
 ハルンが 僕たちを 救ってくれた のだ。
 主語 目的語 述語 (繫辞)

例文 17. 『Laskar Pelangi』：
 Harun telah menyelamatkan kami…
 主語 (完了時制) 述語 目的語

例文 16 の授受動詞「救ってくれた」は例文 17 のインドネシア語の動詞「menyelamatkan」に対応する。「menyelamatkan」は接頭辞「meN-」、語幹「selamat」(=無事)、接尾辞「-kan」からなっている。接頭辞「meN-」は文が能動態であることを示す。語幹「selamat」はインドネシア語の形容詞で、日本語の「無事」を意味する。そして、接尾辞「-kan」は目的語に語幹の品質・特性「無事」を与える状況を表す。つまり、目的語である「僕たち」が主語である「ハルン」から「無事」という状況をもらうということだ。このような構成から kausatif (=使役格) の目的を果たすとわかる。

4.1.2. 「meN-動詞」

例文 18. 『虹の少年たち』:

最初の授業で ハルファン校長は、 不屈の精神について、情熟について、
(時制) 主語 目的語
そして夢を叶えるための強い気持ちについて 教えてくれた。
述語

例文 19. 『Laskar Pelangi』:

Pak Harfan memberi kami pelajaran pertama tentang keteguhan
主語 述語 間接目的語 直接目的語
pendirian, tentang ketekunan, tentang keinginan kuat untuk mencapai cita-cita.

例文 18 の授受動詞「教えてくれた」が例文 19 の動詞「memberi」に対応する。「memberi」の接頭辞「meN-」は文が能動態であることを表示している。この場合、目的語は間接目的語と直接目的語に分けられる。間接目的語が受け手を示し、直接目的語が事物を示している。受け手である間接目的語があれば、文章の述語に利益が含まれるということがわかる。「memberi」には省略された benefaktif (=受益格)「-kan」が含まれる可能性もある。

4.1.3. benefaktif (=受益格)「meN-動詞-kan」

例文 20. 『虹の少年たち』:

人生の根底の大切なことを 教えてくれる…
目的語 述語

例文 21. 『Laskar Pelangi』:

Beliau menorehkan benang merah kebenaran hidup …
主語 述語 目的語

例文 20 の授受動詞「教えてくれる」が例文 21 の動詞「menorehkan」に対応する。「menorehkan」は「meN-」、語幹「toreh」(=心に刻む)、接尾辞「-kan」で成立されている。この場合、語幹「toreh」はインドネシア語の動詞である。接頭辞「meN-」が能動態であることを示し、接尾辞「-kan」が、動詞である語幹が誰かのために行われることを意味する。つまり、この構成では、「toreh」が行われることで、誰かがその利益を受ける。このような構成で benefaktif (=受益格) の目的を果たすことがわかる。

4.1.4. 「di-動詞-kan」

例文 22. 『虹の少年たち』:

第三に、とにかく 僕たちを 受け入れてくれる学校が 他になかったこと である。
修飾語 目的語 主語 (動名詞) 述語 (否定形) (繫辞)

例文 23. 『Laskar Pelangi』:

Ketiga, karena anaknya memang tak diterima di sekolah mana pun.
目的語 修飾語 述語 (否定形) 「=学校」

例文 22 の動詞「受け入れてくれる」が例文 23 の「diterima」に対応する。「受け入れてくれる」は能動態の動詞として示されておりつつ、「diterima」は接頭辞「di-」が動詞である語幹「terima」(=受け入れる)に付き、受動態の動詞であることが示されている。

4.1.5. 「menjadi + (人物)」

例文 24. 『虹の少年たち』

彼らも僕の父と同じように、子どもは学校なんかに通わず働いてくれたほうが良いと考えているようだ。

例文 25. 『Laskar Pelangi』

... seperti pikiran ayahku, melayang-layang ke pasar pagi atau ke keramba di tepian laut membayangkan anak lelakinya lebih baik menjadi pesuruh di sana.

例文 24 の授受動詞「働いてくれた」が例文 25 の動詞「menjadi pesuruh」に対応する。一般的に、「menjadi…」は日本語で「…になる」という意味をする。「pesuruh」は「労働者」の意味をする。つまり、本文で「menjadi pesuruh」は一般的に「労働者になる」という意味をする。実際は、「pesuruh」(＝労働者)が「働く」をする人物である。このような文章構成では、授受動詞が「menjadi…」+ (人物) にも対応するということがわかる。

4.1.6. 品詞が変更 (インドネシア語の名詞→日本語の動詞)

例文 26. 『虹の少年たち』:

真珠のように輝く美しい詩的な言葉でこの質素な学校へようこそと、心を込めて迎えてくれた。

例文 27. 『Laskar Pelangi』:

... meluncurlah mutiara nan puitis sebagai prolog penerimaan selamat datang penuh atmosfer sukacita di sekolahnya yang sederhana.

例文 26 の授受動詞「迎えてくれた」が例文 27 の名詞「penerimaan」に対応する。インドネシア語で、接頭辞「peN-」と接尾辞「-an」が名詞化する接辞の組み合わせである。そのため、それが語幹「terima」(＝受け入れる・迎える)に付くと、語幹が名詞「penerimaan」(＝歓迎)になる。

4.2. 授受表現「～てもらう」の考察

『虹の少年たち』における授受表現「～てもらう」を調べた結果、33 の文章が見つかった。その中から、例文を取り上げて考察していく。

4.2.1. benefaktif (=受益格)「di-語幹-kan」

例文 28. 『虹の少年たち』:

それにもう一つ付け加えるなら、母に**買ってもらった**この靴だ。

例文 29. 『Laskar Pelangi』:

Ditambah lagi satu perasaan ngilu karena sepasang sepatu baru yang **dibelikan** ibunya.

例文 28 の授受動詞「買ってもらった」が例文 29 の動詞「dibelikan」に対応する。語幹「beli」(=買う)に付いている接頭辞「di-」は文が受動態であることを示す。そして、主語「僕」が利益を受けるので、接尾辞「-kan」が benefaktif (=受益格)を意味することがわかる。

4.2.2. benefaktif (=受益格)「di-語幹」

例文 30. 『虹の少年たち』

これは、開発公社の重機の修理工から**分けてもらった**鋼のナットで作ったものだ。

例文 31. 『Laskar Pelangi』

Cincin ini dibuat dari bahan mur baja putih yang **didapat** secara kongkalikong dengan orang bengkel alat berat PN Timah.

例文 30 の授受動詞「分けてもらった」が例文 31 の動詞「didapat」に対応する。語幹「dapat」に付いているのは受動態を表す接頭辞「di-」である。この場合、主語が利益を受けるので、省略されているが、benefaktif 接尾辞「-kan」が付いている可能性がある。

4.2.3. kausatif (=使役格)「di-動詞-kan」

例文 32. 『虹の少年たち』

いつだったか、モスクのムアジンに、**驚くべき話を開かせてもらった**ことがある。

例文 33. 『Laskar Pelangi』

muazin kami yang telah berusia 70 tahun menceritakan sesuatu yang membuatku terkesiap

例文 32 の授受動詞「話を開かせてもらった」が例文 33 の動詞「menceritakan」に対応する。インドネシア語の動詞に付いている接辞を見ると、それに能動態の benefaktif (=受益格)の意味が含まれることがわかる。しかし、この文には主語の変更がある。日本語の文で、主語は利益の**与え手**となる「モスクのムアジン」であるが、インドネシア語の文で主語は利益の**受け手**となる「僕」である。

4.2.4. インドネシア語の語幹→日本語の補助動詞

例文 34. 『虹の少年たち』

「君たちには、アフリカのマサイのダンスを踊ってもらおう！」

例文 35. 『Laskar Pelangi』

“Kalian akan tampil dalam koreografi massal suku Masai dari Afrika!”

例文 34 の授受動詞「踊ってもらおう」が例文 35 の動詞・語幹「tampil」に対応する。文が能動態の他動詞の表現である。更に、主語の変更もある。日本語の文で、主語は利益の受け手となる話者であるが、インドネシア語の文で主語は利益を与える「僕たち」である。

第五章 まとめ

5.1. 結論

『虹の少年たち』における補助動詞「～てくれる」・「～てもらおう」と『Laskar Pelangi』における度合いの表現を分析した結果、以下のことがわかった。

1. 一般的に日本語の補助動詞「～てくれる」がインドネシア語の能動態の *kausatif* (=使役格) と *benefaktif* (=受益格) 表現に対応する。それは、述語に付いている接辞「*meN-*語幹-*kan*」、又は「*meN-*語幹」で表示される。
2. 日本語の補助動詞「～てくれる」はインドネシア語の受動態の *benefaktif* (=受益格) 表現「*di-*語幹」にも対応するが、文構造では主語の交替がある。
3. 日本語の補助動詞「～てくれる」はインドネシア語の事物の有無を表す「*ber-*」に対応するが、インドネシア語の文は能動態の自動詞になる。
4. 日本語の補助動詞「～てくれる」はインドネシア語の「*menjadi* + (人物)」に対応する。しかし、品詞は動詞ではなく、名詞(人物)になる。
5. 一般的に日本語の補助動詞「～てもらおう」がインドネシア語の受動態の *kausatif* (=使役格) と *benefaktif* (=受益格) 表現に対応する。それは、述語に付いている接辞「*di-*語幹-*kan*」、又は「*di-*語幹」で表示される。
6. 日本語の補助動詞「～てもらおう」はインドネシア語の能動態の *benefaktif* (=受益格) 表現「*meN-*語幹-*kan*」、又は「*meN-*語幹」にも対応するが、文構造では主語の交替がある。
7. 日本語の補助動詞「～てもらおう」はインドネシア語の動詞の語幹に対応する。この場合も文構造では主語の交替がある。

5.1. 今後の課題

1. 『Laskar Pelangi』には授受動詞が使われていないが、『虹の少年たち』には授受動詞が使われている箇所がある。インドネシア語では不必要に思える授受動詞を日本人がどう

して日本語翻訳で使うのかについても考えてみたい。

2. 子ども ➡ 子ども、子ども ➡ 大人、子ども ➡ 校長先生という会話の方向、そしてそれと逆方向の場合、インドネシア語の『Laskar Pelangi』では何か使い分ける言葉があるかどうか、更にそれに対して日本語翻訳者はどんな授受動詞の選び方をしているかを調べてみようと思う。
3. インドネシア語では「与える」という構文なのに、日本語翻訳では逆の「もらう」が使われている箇所がある。どうしてそのように逆にするのか、これについても考えてみたい。

調査資料

アンドレア・ヒラタ (2013) 『虹の少年たち』 サンマーク出版

Andrea Hirata (2005) 『Laskar Pelangi』 Benteng Pustaka

参考文献

● 日本：

寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタックスと意味 I』 くろしお出版

川村よし子 (1991) 「日本人の言語行動の特性」 『日本語学』 Vol. 10. 5. 明治書院, p. 51-60

益岡隆志 (2001) 「日本語における授受動詞と恩恵性」 『言語 (特集「授受」の言語学)』 Vol. 30. 5. 大修館書店, p. 26-32

友松悦子・宮本淳・和栗雅子 (2010) 『新装版どんなときどう使う日本語表現文型辞典』 アルク

● インドネシア：

Abdul Chaer (2015) 『Morfologi Bahasa Indonesia: Pendekatan Proses』 Rineka Cipta

James Sneil Sneddon, Alexander Adelaar, Dwi Noverini Djenar & Michael C. Ewing (2010) 『Indonesian Reference Grammar 2nd Edition』 Allen & Unwin

表①. 『虹の少年たち』における「~てくれる」のインドネシア語の翻訳

1. 接頭尾辞：受益格「meN-...-kan」

	日本語	インドネシア語	分析
1	ハルンが僕たちを救ってくれたのだ。	Harun telah menyelamatkan kami ...	与え手：ハルン 受け手：僕たち 行為：救う meN-[selamat]-kan
2	ハルファン校長はこのムハマディヤ学校誕生の物語をときにバドルの戦いのように激しく、ときに朝のそよ風のようにやさしく語ってくれた。	Pak Harfan menceritakan semua itu dengan semangat perang badar sekaligus setenang embusan angin pagi.	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：語る meN-[cerita]-kan
3	人生の根底の大切なことを教えてくれる...	Beliau menorehkan benang merah kebenaran hidup ...	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：教える meN-[toreh]-kan
4	校長先生は僕たちに、どんな困難に直面してもけっして諦めない勇気を持つことを伝えるために <u>その身を捧げてくれたのだ</u> 。	<u>Beliau</u> mengobarkan semangat kami untuk belajar dan membuat kami tercengang dengan petuahnya tentang keberanian pantang menyerah melawan kesuitan apa pun.	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：身を捧げる meN-[kobar]-kan
5	しかし <u>ムス先生</u> は僕たちの文句にはとりあおうとせず、代わりにあるオランダ語の本を取り出し、一枚の絵を見せてくれた。	<u>Beliau</u> tak menanggapi keluhan itu tapi mengeluarkan sebuah buku berbahasa Belanda dan memperlihatkan sebuah gambar.	与え手：ムス先生 受け手：僕たち 行為：見せる meN-[keluar]-kan
6	たくさんの人が <u>祈ってくれている</u> のよ。	... jangan khawatir <u>orang yang akan</u> mendoakan.	与え手：たくさんの人 受け手：僕 行為：祈る meN-[doa]-kan

7	しかし、この最悪な状況でようやく神様は僕に手を差し伸べてくれた。	Namun, pada detik paling gawat itu rupanya Tuhan menyelamatkanku ...	与え手：神様 受け手：僕 行為：手を差し伸べる meN-[selamat]-kan-(ku)
8	そして僕たちのことをいつも励まし、勇気づけてくれた。	Ia selalu membesarkan hati kami.	与え手：ムス先生 受け手：僕たち 行為：励ます・勇気をつける meN-[besar]-kan hati
9	そして息をするのも困難なほどの貧しさから、リントンが家族を救い出してくれることを頼った。	... dan lebih dari itu ia berharap Lintang dapat mengeluarkan mereka dari lingkaran kemiskinan yang lebih lama mengikat mereka hingga sulit bernapas.	与え手：リントン 受け手：家族 行為：救い出す meN-[keluar]-kan
10	リントンは僕たちにも、どうすれば勉強がもっとおもしろくなるのか、物事をポジティブに考えることができるのか示してくれた。	Ia memperlihatkan bagaimana ilmu bisa menjadi menarik ...	与え手：リントン 受け手：僕たち 行為：示す memper-[lihat]-kan
11	僕たちは毎日、どんな驚きを与えてくれるのかとリントンを取り囲んでいた。	Setiap hari kami merubungnya untuk menemukan kejutan-kejutan pemikirannya.	与え手：リントン 受け手：僕たち 行為：驚きを与える meN-[temu]-kan
12	でもそのたびにリントンが答えをわかりやすく説明し、けっして嫌みな印象を与えることなく間違いを正してくれた。	... lalu Lintang membetulkan jawabanku, dengan semangat konstruktif penuh rasa akrab persahabatan.	与え手：リントン 受け手：僕 行為：正す meN-[betul]-kan
13	残念ながら、おそらく生涯でたったの一度も彼が楽器を手にすることはないし、その	Sayangnya sepanjang hidupnya ia tak pernah mendapat kesempatan sekali pun memegang alat	与え手：人 受け手：リントン 行為：見つける meN-[temu]-kan-[nya*]

	才能を見つけてくれる人もただの一人としていないだろう。	musik, dan tak pernah seorang pun yang menemukannya.	
14	マハールも負けじと、回転する机を担いできて、美しい陶器製作、モチーフの書き方、色のつけ方などを 実演 してくれた。	Sebaliknya Mahar tak mau kalah, ia menggotong sebuah meja putar dan mendemonstrasikan seni membuat gerabah yang indah, teknik-teknik melukis gerabah itu dengan mewarnainya.	与え手：マハール 受け手：僕たち 行為：実演する meN-[demonstrasi]-kan
15	何せよ、この台風はとても意味のあるものだった。過ちを犯したという気持ちを取り去ってくれるだけでなく、壺つきのレットルから逃れて、さらに漁師に感謝までされることになった。	Bagaimanapun juga badai ini sedikit banyak memihak ceritanya, mengurangi rasa bersalahnya, dan dapat menghindarkannya dari cap pembual, apalagi esoknya para nelayan berterima kasih padanya.	与え手：台風 受け手：マハール 行為：取り去る meN-[kurang]-[i*]
16	あのサワン人の大声が僕を正気に戻らせると同時に、自分が恋に落ちたんだということを 自覚 させてくれた。	Suara keras bantingan pintu itu membuatku siuman dari sebuah pesona yang memabukkan dan menyadarkan aku bahwa aku telah jatuh cinta.	与え手：サワン人の大声 受け手：僕 行為：自覚させる meN-[sadar]-kan
17	…ときにオレンジに調味料のサンバルを混ぜたジュースを作ってくれたりしたのも、みんなハルファン校長とムス先生だ。	dan kadang-kadang membuatkan kami air jeruk sambal.	与え手：ハルファン校長とムス先生 受け手：僕たち 行為：作る meN-[buat]-kan

2. 受益格の「meN-」

18	最初の授業でハルファン校長は、不屈の精神について、情熱について、そして夢を叶えるための強い気持ちについて教えてくれた。	Pak Harfan memberi kami pelajaran pertama tentang keteguhan pendirian, tentang ketekunan, tentang keinginan kuat untuk mencapai cita-cita.	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：教える meN-beri
19	それだけでなく木でおもちやの家を作ったり、足の傷をさすってくれたり、祈りの前に使う清めの水の取り方を指導してくれたり、割礼のときに腰巻の中を覗き込んだり、寝る前のお祈りについて教えてくれたり、自転車のタイヤの空気を入れてくれたり、…	Mereka mengajari kami membuat rumah-rumahan dari perdu apit-apit, mengusap luka-luka di kaki kami, membimbing kami cara mengambil wudu, melongok ke dalam sarung kami ketika kami disunat, mengajari kami doa sebelum tidur, memompa ban sepeda kami, …	与え手：ハルファン校長とムス先生 受け手：僕たち 行為：さする・指導する・教える・空気を入れる meN- [usap] meN-[bimbing] meN-[ajar]-[i*] meN-[pompa]
20	つまらない授業の間、「クッカー」という鳴き声がいつも僕たちの心を和ませてくれた。	Pada jam ini kami mendapat pelajaran kewarganegaraan yang jauh lebih membosankan. <u>Suara</u> <u>kut-kut</u> persis di luar jendela kelas kami jelas lebih menghibur …	与え手：鳥 受け手：僕たち 行為：和ませる meN-[hibur]
21	彼ら二人はそれぞれ、クラスを牽引する芸術的・学術的な道しるべを打ち立ててくれたので、僕たちは退屈することなどなかった。	Mereka berdua membangun tonggak artistik daya tarik kelas kami sehingga tak pernah membosankan.	与え手：リントンとマハー 受け手：僕たち 行為：打ち立てる meN-[bangun]
22	リントンにとって勉強	Belajar adalah hiburan	与え手：勉強

	強は、すべての疲れと困難を忘れさせてくれる喜びだった。	yang membuatnya lupa pada seluruh penat dan kesulitan hidup.	受け手：リントン 行為：忘れさせる meN-[buat]-(nya*)
23	いつも僕たちのことを全身全霊で受け止めてくれるムス先生。	... seseorang yang bersedia menerima kami apa adanya dengan sepenuh hatinya, segenap jiwanya.	与え手：ムス先生 受け手：僕たち 行為：受け止める meN-[terima]

3. 受動態「di-」

24	第三に、とにかく僕たちを受け入れてくれる学校が他になかったことである。	Ketiga, karena anaknya memang tak diterima di sekolah mana pun.	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：受け入れる di-[terima]
----	-------------------------------------	---	---

4. 受動態「ber-」

25	縫いつけたシャツの襟が取れてしまっていたが、気にも留めずにノアの方舟の物語をしてくれた。	Bapak yang jahitan kerah kemejanya telah lepas itu bercerita tentang perahu Nabi Nuh ...	与え手：校長 受け手：僕たち 行為：物語をする ber-[cerita]
----	--	--	---

5. 動詞「menjadi」(=「...になる」)

26	彼らも僕の父と同じように、子どもは学校なんかに通わず働いてくれたほうがいいと考えているようだ。	... seperti pikiran ayahku, melayang-layang ke pasar pagi atau ke keramba di tepian laut membayangkan anak lelaki lebih baik menjadi pesuruh di sana.	与え手：子供 → 僕と彼ら 受け手：父 → 僕のと彼らの 行為：働く menjadi pesuruh = 労働者になる
27	フェリシウムの木の下で僕たちは成長し、そして木はいつも見守ってくれていた。	... Ia saksi bagi drama masa kecil kami.	与え手：フェリシウムの木 受け手：僕たち 行為：見守ってくれていた saksi bagi drama masa kecil = 少年時代の証人になる
28	単に教師として教え	Pak Harfan ... tak hanya	与え手：ハルファン校長

	るだけでなく、子どもたちの友人として、よき相談相手として、いつも僕たちのそばにいてくれた。	mentransfer sebuah pelajaran, tapi juga yang secara pribadi menjadi <u>sahabat dan pembimbing spiritual</u> bagi muridnya.	受け手：僕たち 行為：そばにいる menjadi sahabat dan pembimbing = 親友・スピリチュアルの指導員になる
--	---	--	---

6. 品詞が変更（インドネシア語の名詞→日本語の動詞）

29	真珠のように輝く美しい詩的な言葉でこの質素な学校へようこそと、心を込めて迎えてくれた。	... meluncurlah mutiara nan puitis sebagai prolog penerimaan selamat datang penuh atmosfer sukacita di sekolahnya yang sederhana.	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：迎える penerimaan selamat datang = 歓迎
30	続いてハルファン校長は、ムハンマドの時代に起こったバトルの戦いの話をしてくれた。	Cerita selanjutnya sangat memukau. Sebuah cerita peperangan besar zaman Rasulullah ...	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：話をする cerita... = ...の物語
31	ノアの方舟と洪水の物語は域も印象深い話の一つで、僕に最初の教訓を授けてくれた物語だ。	Sebuah kisah yang sangat mengesankan. Pelajaran moral pertama <u>bagiku</u> : ...	与え手：ハルファン校長 受け手：僕 行為：授けてくれた 最初の教訓

7. 他

32	大きな根元でムス先生を囲み、先生してくれる有名な冒険の物語に夢中になった。	Di akarnya yang menonjol, kami duduk berkeliling mendengar kisah Bu Mus tentang petualangan Hang Jebat, ...	与え手：ムス先生 受け手：僕たち 行為：する 原文に対応する部分がない
33	教室で校長先は、机の両端に手を置き、声に抑揚をつけ、言葉を一つひとつ確かめながら、ときに雨乞いをするかのよう両手を	Beliau sering menaikturunkan intonasi, menekan kedua ujung meja sambil mempertegas kata-kata tertentu, dan mengangkat kedua	与え手：ハルファン校長 受け手：僕たち 行為：語って開かせる 原文に対応する部分がない

	天にかざし、いろいろな物語を語って開かせてくれた。	tangannya laksana orang berdoa minta hujan.	
--	---------------------------	---	--

表②. 『虹の少年たち』における「~てもらう」のインドネシア語の翻訳

1. 受動態の受益格「di-...-kan」

	日本語	インドネシア語	分析
1	それにもう一つ付け加えるなら、母に買ってもらったこの靴だ。	Ditambah lagi satu perasaan ngilu karena sepasang sepatu baru yang dibelikan ibuku.	与え手：母 受け手：僕 行為：買う di-[beli]-kan
2	これは僕たちが五年生のとき、リンタンがポデンガに助けてもらった日の出来事だ。	Kejadian ini terjadi ketika kami kelas lima, pada hari ketika ia diselamatkan oleh Bodenga.	与え手：ポデンガ 受け手：リンタン 行為：助ける di-[selamat]-kan

2. 受動態「di-」

3	とくに数学についてはむしろリンタンに助けてもらっていることが多かった。	Dapat dikatakan bahwa Bu Mus sering kewalahan menghadapi Lintang, terutama untuk pelajaran matematika, sehingga ia sering diminta untuk membantu.	与え手：リンタン 受け手：ムス先生 行為：助ける di-[minta]
4	みんなに搜索してもらって問題を増やして、後でとても面倒なことになる。	Kalau kita turun ke sana, aku pastikan kita bisa menjadi Flo-Flo baru yang akan dicari orang, menambah persoalan, merepotkan semuanya nanti.	与え手：みんな 受け手：僕たち 行為：搜索する di-[cari]
5	これは、開発公社の重機の修理工から分けてもらった鋼のナットで作ったものだ。	Cincin ini dibuat dari bahan mur baja putih yang didapat secara kongkalikong dengan orang bengkel alat berat PN Timah.	与え手：重機の修理工 受け手：僕 行為：分ける di-[dapat]

3. 能動態の受益格「meN----kan」

6	いつだったか、モスクのムアジンに、驚くべき話を開かせてもらったことがある。	Minggu lalu ketika sedang memperbaiki sound system di masjid, demi melihat kabel centang perenang yang dianggapnya benda ajaib zaman baru, muazin kami yang telah berusia 70 tahun menceritakan sesuatu yang membuatku terkesiap.	与え手：モスクのムアジン 受け手：僕 行為：話を開かせる meN-[cerita]-kan
7	勉強に疲れたら、『もし君たちが話せた』のページを開いた。その本を読むと、疑り深く変化を好まない展民に対して、ヘリオットが自らの存在を認めてもらうことがいかに困難だったか知ることができた。	Jika kelelahan belajar aku melakukan penyegaran mental yaitu kembali membuka buku “Seandainya Mereka Bisa Bicara” dan di sana kutemukan bagaimana Herriot menghadapi kesulitan membuktikan dirinya di depan para petani Derbyshire yang sangat skeptis, keras kepala, dan anti perubahan.	与え手：展民たち 受け手：ヘリオット 行為：認める meN-[bukti]-kan

4. 能動態の受益格「meN-」

8	何歩か近づいて、自転車のペダルで音を立てたり、手を叩いたり、咳払いをしたりね。とにかくワニにどいてもらおうと思いつく限りのことをやったよ。	Aku maju sedikit, membunyikan lonceng sepeda, bertepuk tangan, berdeham-deham, membuat bunyi-bunyian agar dia merayap pergi.	与え手：ワニ 受け手：僕 行為：どく meN-[rayap] + [pergi]
9	せっかく教えてもらった答えを、リンタンの父は間違えてしまった。	Ayahnya bahkan telah salah mengutip jawaban pegawai kantor desa.	与え手： 受け手：リンタンの父 行為：教える meN-[kutip]
10	どのくらい幸せだった	Rasa bahagia ini melebihi	与え手：母

	かという、昔、割札を頑張ったご褒美にAM/FMの切り替えボタンがついているラジオを買ってもらったが、それを上回るほどだった。	ketika aku mendapat hadiah radio transistor 2-band dari ibuku sebagai upah mau disunat tempo hari.	受け手：僕 行為：買う meN-[dapat] + [hadiah]
11	できれば伝説のバドミントンプレイヤー、フェリー・ソンスヴィルに序文を書いてもらえると最高だ。	Jika beruntung aku akan mengusahakan agar mendapat semacam kata pengantar sekapur sirih dari Ferry Sonnevillie ...	与え手：フェリー・ソンスヴィル 受け手：僕 行為：書く meN-[dapat]
12	…裏表紙には多くの著名人、有識者からの替辞を載せてもらうなんてことも夢想している。	…aku sudah mengkhayalkan akan mendapat banyak komentar berisi pujian dari para pakar di sampul belakang buku itu.	与え手：出版社 受け手：僕 行為：載せる meN-[dapat]

5. インドネシア語の語幹→日本語の補助動詞

13	締め切りには間に合ったし、たとえ評価がCでも合格にもらえることに感謝する。	Jika menyerahkan tugas, mereka puas sekali karena telah berhasil memenuhi batas akhir, dan ketika mendapat nilai C, mereka tak henti-hentinya bersyukur karena telah lulus.	与え手：学校 受け手：凡庸な者 行為：合格にする 語幹[lulus]
14	一次方程式の体系の学習で、ある変数の値を代入して求めることをリンタンに教えてもらっているときのことだ。	Suatu waktu kami belajar sistem persamaan linier ... ia bosan dan menghambur ke depan kelas dan memenuhi papan tulis dengan alternatif-alternatif ...	与え手：リンタン 受け手：僕たち 行為：教える 語幹[belajar]
15	「君たちには、アフリカのマサイのダンスを踊ってもらう！」	“Kalian akan tampil dalam koreografi massal suku Masai dari Afrika!”	与え手：僕たち 受け手：マハール 行為：踊る

			語幹[tampil]
16	そして出版社にちよつと協力してもらって、…	…dan dengan sedikit kerja sama dengan penerbit…	与え手：出版社 受け手：僕 行為：協力する 語幹[kerja sama]

6. 他

17	アキオンにキューピッド役を演じてもらうための僕の言葉はそこで尽きた。	Aku kehabisan kata untuk menjelaskan pada A Kiong bahwa titip-menitip dalam dunia percintaan mengandung nilai romansa yang tinggi karena ada unsur-unsur kejutan di sana.	与え手：アキオン 受け手：僕 行為：キューピッド役を演じてもらう 原文に対応する部分が無い
18	「あなたの志望書は興味深く読ませていただきました。英語でその理由や研究方法について明確に説明されているのが、印象に残っています」と彼は言った。	“Saya tertarik dengan motivation letter Anda, alasan dan cara Anda menyampaikannya dalam bahasa Inggris sangat mengesankan,” katanya.	与え手：僕 受け手：元大臣 行為：興味深く読ませる 原文に対応する部分が無い